

福祉だより



北六甲台&上山口東の住宅街

ぬくもり

第82号
平成27年8月19日

西宮市社会福祉協議会
山口支部北六甲台分区
分区長 生田 収

●発行/社協北六甲台分区●発行日/偶数月●編集/北六甲台分区広報部●配布エリア/北六甲台・上山口東

夕方五時の北六甲台小学校校庭は、すっかり盆踊りの準備が整っていました。五時半に「劇団希望」による舞台衣装でのダンスが披露されました。その後、子供たちお待ちかねの「みやたん」の登場です。司会者に促されて子供たちと一緒に「みやたん音頭」の踊りが始まり、終了後は社



みやたん登場！

八月十五日、北六甲台の三十回目の盆踊り大会を迎えました。昨年は大型台風の影響で中止に追い込まれた盆踊りも、今年は天候にも恵まれ無事開催されました。

第三十回北六甲台盆踊り大会

新興住宅街の絆を結ぶ盆踊り

社協副分区長 日高 昭夫

協が運営する敬老席で参加した子供たちにお菓子が配られました。

村上自治会長による開会挨拶を皮切りにいよいよ盆踊りのスタートです。テントごと出店する各団体の夜店の店先にはもう行列ができています。



櫓の上ではおなじみの曲目をいつものメンバーが巧みなバチ捌きで音頭を取ります。それに合わせてゆかたやハッピ姿の大勢の老若男女がつくるいくつもの輪がリズムカ

懇親に花咲く敬老席

ルに流れます。



社協の敬老席では、おなじみのお年寄りの顔ぶれで賑わいます。おかきや焼き鳥などを肴に生ビール、のほろ酔いが、二年ぶりの懇親に花を咲かせます。

お楽しみ抽選会も終り、閉会挨拶とともに盛大だった今年の盆踊りも無事に幕を閉じました。

それぞれの盆踊り

盆踊り大会は、二千世紀を擁する北六甲台挙げての一大イベントです。自治会を中心に地域の各団体が一丸となって、夜店の出店や運営準備に当たります。

一九八二年の分譲開始以来、三十三年の北六甲台の歴史に三十回を刻む盆踊りは、今やこの町の伝統行事となりました。

盆踊りは、巣立っていく子供たちには、故郷の良い思い出であり、お盆で帰省した際の、幼なじみたちとの貴重な再会の場を提供します。お年寄りたちには、故郷の懐かしい風景を偲ぶ機会となるのではないのでしょうか。

運営に関わった人々には、当日だけでなく準備や後片づけを通してどれほど多くの人々との新たな出会いをもたらした交流を深める場になったことでしょう。

地縁・血縁とは無縁の人工的に造成された新興住宅街の恒例の盆踊りが、地域交流と故郷意識をもたらし、新たな絆を結び貴重な伝統を育んでいます。

こんにちは 赤ちゃん！

北六甲台一丁目
中倉一颯くん
(三カ月) いっさ



せみの声が町内にこだまする八月初旬、中倉さんのお宅を訪ねました。リビングにいる一颯くんはご機嫌のようす。にこやかにカメラを見つめてくれました。

「最近、急に体つきがすっかりしてきました」とお母さん。小さな体をくねらせて今にも寝がえりが出来そうな勢いです。「あーうー」と喃語も出始めているとのこと。日々

の成長の変化を楽しんで、育児をされている様子でした。

一颯くんは、五人兄弟の末っ子。お兄ちゃんたちがよく面倒を見てくれてお母さんも助かっているそうです。

おじいちゃん、おばあちゃんも一緒にお住まいで、お母さんがお仕事の日は、一颯くんを見てくれているとのこと。大家族の中で、皆の愛情に包まれ、すくすくと大きくなられています。

主任児童委員 小澤 薫

子育て支援部を担当して

子育て支援部長 松山 佳代子

平成九年に上山口町に転居してきた時には、宅地造成は進んでいたものの住宅は数軒だけで、話す人もない状況でした。地域と関わりたいう情報も知りたいう思いから、ボランティア登録をし、小学校や施設のボランティアに参加させて頂いたのが社協と関わるきっかけでした。

昨年は、子育て支援部の責任者になり、私にできるだろうかと不安な気持ちでの船出でした。ところが、ベテランスタッフ、毎回子供達の喜ぶ行事を

企画して下さる役員さん、備品の移動・組立等に力を貸して下さい役員のご主人たちのおかげで無事の一年を過ごせました。感謝の気持ちでいっぱいです。

今年は「広場」に参加している子供達が成人し、活動の場所が全国に散らばっていても、自分が子供の頃に育ったこの町が「故郷」として思い出してもらえようという「広場」作りにスタッフ一同で力を合わせてやっていきたいと思っています。

子育てひろば

「友だちつくり」に遊びに来てね

子育て支援部スタッフ一同

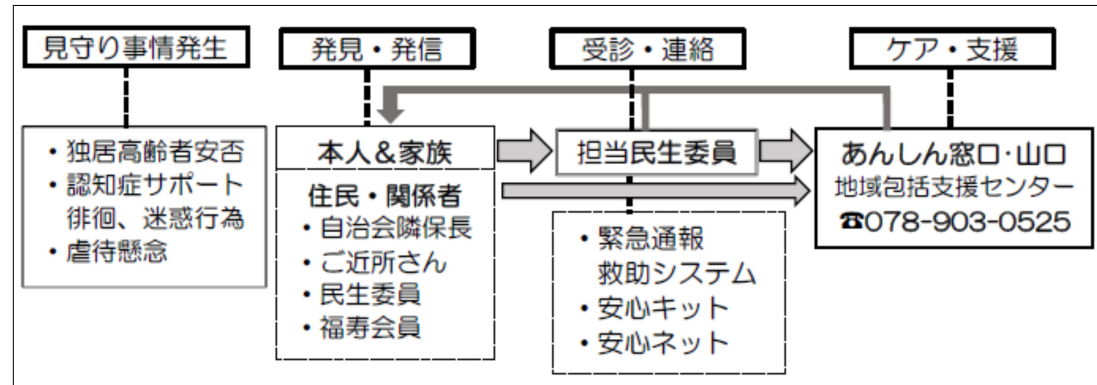
未就園児とお母さんの子育てひろば「友だちつくり」は、毎月第四金曜日(十二月は第三金曜日)、北六甲台「ミセン」A室で開催しています。

六月二十六日(金)は「七夕まつり」を開催。参加した十六人の親子は、「元気に育ちますように」「お友だちと仲良く遊べますように」など、願い事を書いた短冊を笹に結びました。また、青い布に星型の飾りを貼り、満点の星がちりばめられた天の川の川も完成。飾り付けの後、子どもたちはボールプールなど、お気に入りのおもちゃで遊び、ママたちは子育ての話題に花が咲いていました。

「子育てひろば」のスタッフは八名。子育て大先輩の方から子育て真っ最中の方まで多彩な顔ぶれで運営しています。「そろそろ断乳したいんですが」「予防接種はどこで受けたらいいの?」など、育児の悩みにも先輩ママのスタッフが丁寧に対応しています。「スタッフの方が子どもを見てくれるので、ゆったり過ごすことができます」と毎回参加してくださる方も増えています。



最近、〇歳児など小さいお子さんも増え、ベビラックなども充実。昨年購入した大きなお絵かきボードやキッチンセットも人気です。参加申し込みなどは必要ありません。自由に集まって交流できる「友だちつくり」。台数に限りはありますが、駐車場もあります。ぜひ、お子さんと一緒に気軽にお越し下さい。



「福祉ネット北六甲」では私たちの町の「高齢

福祉ネットだより

「高齢者見守り」の現状と進め方

者等の見守り」の現状を整理し、今後の在り方について上記の図のようにまとめました。

見守りの現状

福祉ネットの構成組織は既に様々な見守り活動や見守りに繋がる活動を実施しています。

◆民生委員の毎年秋の高齢者実態把握調査や安心キット、安心ネット、緊急通報救助システムのご案内

◆自治会の年二回の会費徴収の訪問活動

◆連合福寿会の「憩の家」での交流による見守りや広報紙配布の訪問活動

◆ボランティアセンターの特定の方への電話訪問

通報・連絡の手順

ところでこうした見守り活動を通してどんな場合にどのような手順で通報や連絡をするかが必ず

ボランティア交流会 「得られる事も多いボランティア」

ボランティアセンター長 井上さち子

今回の交流会は施設（山口苑、厚生院、白寿荘）やふれあい喫茶で活動されている方と、移送サービスボランティアをお願いしている方とのグループ別にコーディネーターとの交流を深めようと企画しました。

施設ボランティア

六月九日（火）午後一時半～三時まで、自治会館で施設派遣と、ふれあい喫茶のボランティアさん二十二名とコーディネーター九名の出席で交流会を開催しました。

田中コーディネーター（副分区分長）の司会のもとでボランティア活動についての沢山の感想やご意見を伺いました。

感想では「施設で皆さんから心からの有り難うの言葉を頂くたびにボランティアをして良かった

と思う」「施設特有のにおいの中で移動もままならない方達にのびのびとヒールを飲んで頂くお世話ができる自分の幸せを感じている」「認知症の方の接し方の難しさを勉強しました」などの発言がありました。また蘆田氏（元分区分長）はオレシジのプレスレットを示して「認知症サポーター養成講座を受けると認知症



の方に對する心得ができ、サポーターの証しとしてこのオレシジのプレスレットが交付される」と説明され、講座開催の要望が出されました。



「グループでボランティアに行くときに車を出して頂く方に申し訳ないのて車代は出ないのか」という質問に、施設の助成金制度が変わり予算が取れなくなった状況を蘆田氏から教えて頂きました。

カーボランティア

六月十一日（木）午後一時半～三時迄、安心プラザで移送ボランティア（カーボランティア）五名とコーディネーター一

〇名で交流を持ちました。古南コーディネーターの進行で男性が多い緊張の味、会話が、活動の困り事は？という問いかけから始まりました。「いつも感謝の言葉を頂きやういがある」「依頼を頂くが都合が悪く断ることが多くなると申し訳なく思う」「外に出ていて予定が解らないときの返事に困る」などの声がありました。高齢化に伴うボランティア減少の負担も窺えました。またカーボランティアの責任の重さを感じながらも「困っている方のお手伝いが出来ればという思いの方が大きく、今後も継続している」「個人的なボランティアではなく、ボランティアセンターからの依頼でしているのだから安心して活動できる」などボランティア精神の原点やセンターに対しての信頼など聞かせて頂き、まさに「目から鱗！」の思いでした。

交流会で得たもの

今回の交流会を通して、

ボランティアセンターとしてボランティアさんが安心して活動できる環境整備や増員の拡充を通して、地域での助け合いの仕組みが定着できるように繋いでいく責任をあらためて感じました。次回は登録ボランティアさん全員での企画にしたいと思います。ご出席頂きました皆様！本当にありがとうございました。コーディネーター一同、日頃の活動へのご協力も含めて心から御礼申し上げます。

社協会員会費の報告

ご協力ありがとうございました

個人	432口	216,000円
法人	16口	80,000円
合計		296,000円
		8月10日現在

研修部よりご案内

シリーズ・基礎から学ぶ 認知症講座

第1回 認知症サポーター養成講座 （認知症のイロハとサポーターの実務）

9月20日（日）13:30～15:30

会 場 北六甲台コミセンA室

講 師 中島淳美（訪問看護センター看護師）

第2回 パネルディスカッション （地域で考える認知症サポート）

10月4日（日）13:30～15:30

会 場 北六甲台コミセンA室

助言者 丸尾多重子

（NPO法人つどい場さくらちゃん理事長）

パネラー 北六甲台自治会、連合福寿会、社協北六甲台分区、北六甲台ボランティアセンター、民生児童委員の各代表

ご案内

第10回（平成27年度）

敬老のつどい

開催日：9月26日（土）

時 間：午後1時～3時

会 場：北六甲台小学校・体育館



福祉だより



北六甲台&上山口東の住宅街

ぬくもり

第82号
平成27年8月19日

西宮市社会福祉協議会
山口支部北六甲台分区
分区長 生田 収

●発行/社協北六甲台分区●発行日/偶数月●編集/北六甲台分区広報部●配布エリア/北六甲台・上山口東

夕方五時の北六甲台小学校校庭は、すっかり盆踊りの準備が整っていました。五時半に「劇団希望」による舞台衣装でのダンスが披露されました。その後、子供たちお待ちかねの「みやたん」の登場です。司会者に促されて子供たちと一緒に「みやたん音頭」の踊りが始まりまし



みやたん登場！

八月十五日、北六甲台の三十回目の盆踊り大会を迎えました。昨年は大型台風の影響で中止に追い込まれた盆踊りも、今年は天候にも恵まれ無事開催されました。

第三十回北六甲台盆踊り大会

新興住宅街の絆を結ぶ盆踊り

社協副分区長 日高 昭夫

協が運営する敬老席で参加した子供たちにお菓子が配られました。

村上自治会長による開会挨拶を皮切りにいよいよ盆踊りのスタートです。テントごと出店する各団体の夜の店の店先にはもう行列ができています。



櫓の上ではおなじみの曲目をいつものメンバーが巧みなバチ捌きで音頭を取ります。それに合わせてゆかたやハッピ姿の大勢の老若男女がつくるいくつもの輪がリズムカ

懇親に花咲く敬老席

ルに流れます。



社協の敬老席では、おなじみのお年寄りの顔ぶれで賑わいます。おかきや焼き鳥などを肴に生ビールほろ酔いが、二年ぶりの懇親に花を咲かせます。

お楽しみ抽選会も終り、閉会挨拶とともに盛大だった今年の盆踊りも無事に幕を閉じました。

それぞれの盆踊り

盆踊り大会は、二千世帯を擁する北六甲台挙げての一大イベントです。自治会を中心に地域の各団体が一丸となって、夜の店の出店や運営準備に当たります。

一九八二年の分譲開始以来、三十三年の北六甲台の歴史に三十回を刻む盆踊りは、今やこの町の伝統行事となりました。

盆踊りは、巣立っていく子供たちには、故郷の良い思い出であり、お盆で帰省した際の、幼なじみたちとの貴重な再会の場を提供します。お年寄りたちには、故郷の懐かしい風景を偲ぶ機会となるのではないのでしょうか。

運営に関わった人々には、当日だけでなく準備や後片づけを通してどれほど多くの人たちとの新たな出会いをもたらした交流を深める場になったことでしょう。

地縁・血縁とは無縁の人工的に造成された新興住宅街の恒例の盆踊りが、地域交流と故郷意識をもたらし、新たな絆を結び貴重な伝統を育んでいます。

こんにちは 赤ちゃん！

北六甲台一丁目
中倉一颯くん
(三カ月) いっさ



せみの声が町内にこだまする八月初旬、中倉さんのお宅を訪ねました。リビングにいる一颯くんはご機嫌のようす。にこやかにカメラを見つめてくれました。

「最近、急に体つきがすっかりしてきました」とお母さん。小さな体をくねらせて今にも寝がえりが出来そうな勢いです。「あーうー」と喃語も出始めているとのこと。日々

の成長の変化を楽しんで、育児をされている様子でした。

一颯くんは、五人兄弟の末っ子。お兄ちゃんたちがよく面倒を見てくれてお母さんも助かっているそうです。

おじいちゃん、おばあちゃんも一緒にお住まいで、お母さんがお仕事の日は、一颯くんを見てくれているとのこと。大家族の中で、皆の愛情に包まれ、すくすくと大きくなられています。

主任児童委員 小澤 薫

子育て支援部を担当して

子育て支援部長 松山 佳代子

平成九年に上山口町に転居してきた時には、宅地造成は進んでいたものの住宅は数軒だけで、話す人もない状況でした。地域と関わりたいう情報も知りたいう思いから、ボランティア登録をし、小学校や施設のボランティアに参加させて頂いたのが社協と関わるきっかけでした。

昨年は、子育て支援部の責任者になり、私にできるだろうかと不安な気持ちでの船出でした。ところが、ベテランスタッフ、毎回子供達の喜ぶ行事を

企画して下さる役員さん、備品の移動・組立等に力を貸して下さい役員のご主人たちのおかげで無事の一年を過ごせました。感謝の気持ちでいっぱいです。

今年は「広場」に参加している子供達が成人し、活動の場所が全国に散らばっていても、自分が子供の頃に育ったこの町が「故郷」として思い出してもらえような「広場」作りにスタッフ一同で力を合わせてやっていきたいと思っています。

子育てひろば

「友だちつくり」に遊びに来てね

子育て支援部スタッフ一同

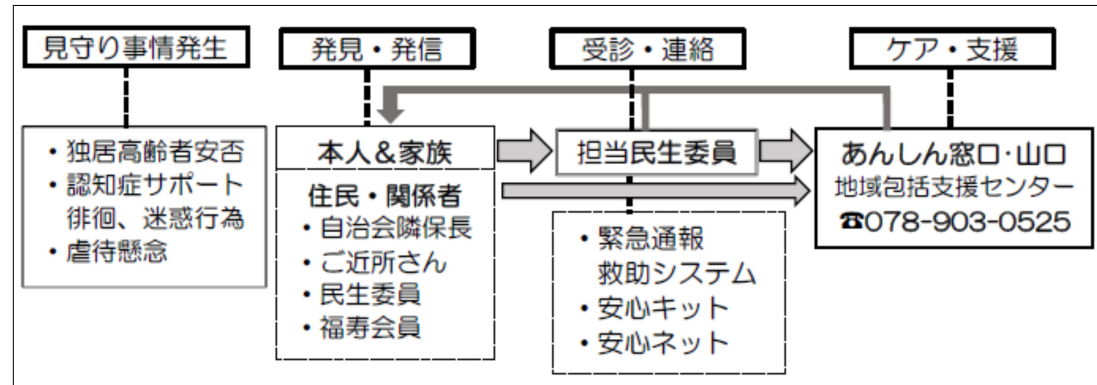
未就園児とお母さんの子育てひろば「友だちつくり」は、毎月第四金曜日(十二月は第三金曜日)、北六甲台「ミセン」A室で開催しています。

六月二十六日(金)は「七夕まつり」を開催。参加した十六人の親子は、「元気に育ちますように」「お友だちと仲良く遊べますように」など、願い事を書いた短冊を笹に結びました。また、青い布に星型の飾りを貼り、満点の星がちりばめられた天の川の川も完成。飾り付けの後、子どもたちはボールプールなど、お気に入りのおもちゃで遊び、ママたちは子育ての話題に花が咲いていました。

「子育てひろば」のスタッフは八名。子育て大先輩の方から子育て真っ最中の方まで多彩な顔ぶれで運営しています。「そろそろ断乳したいんですが」「予防接種はどこで受けたらいいの?」など、育児の悩みにも先輩ママのスタッフが丁寧に対応しています。「スタッフの方が子どもを見てくれるので、ゆったり過ごすことができます」と毎回参加してくださる方も増えています。



最近、〇歳児など小さいお子さんも増え、ベビラックなども充実。昨年購入した大きなお絵かきボードやキッチンセットも人気です。参加申し込みなどは必要ありません。自由に集まって交流できる「友だちつくり」。台数に限りはありますが、駐車場もあります。ぜひ、お子さんと一緒に気軽にお越し下さい。



「福祉ネット北六甲」では私たちの町の「高齢

福祉ネットだより

「高齢者見守り」の現状と進め方

者等の見守り」の現状を整理し、今後の在り方について上記の図のようにまとめました。

見守りの現状

福祉ネットの構成組織は既に様々な見守り活動や見守りに繋がる活動を実施しています。

◆民生委員の毎年秋の高齢者実態把握調査や安心キット、安心ネット、緊急通報救助システムのご案内

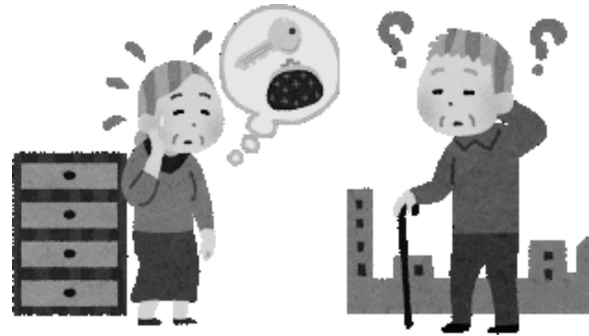
◆自治会の年二回の会費徴収の訪問活動

◆連合福寿会の「憩の家」での交流による見守りや広報紙配布の訪問活動

◆ボランティアセンターの特定の方への電話訪問

通報・連絡の手順

ところでこうした見守り活動を通してどんな場合にどのような手順で通報や連絡をするかが必ず



しも明確ではありませんでした。

連絡が必要な場合は、通常、上記の図の「見守り事情の発生」の内容が想定されます。

こうした場合に図のように「ご本人や家族」「住民や関係者」が各丁目の「担当民生委員」か「あんしん窓口」に連絡します。

民生委員は内容に依じてあんしん窓口や関係の行政機関に連絡相談します。あんしん窓口は、必要な措置を本人や家族に対して実施します。

(社協福祉ネット 推進部長・日高)

ボランティア交流会

「得られる事も多いボランティア」

ボランティアセンター長 井上さち子

今回の交流会は施設（山口苑、厚生院、白寿荘）やふれあい喫茶で活動されている方と、移送サービスボランティアをお願いしている方とのグループ別にコーディネーターとの交流を深めようと企画しました。

施設ボランティア

六月九日（火）午後一時半～三時まで、自治会館で施設派遣と、ふれあい喫茶のボランティアさん二十二名とコーディネーター九名の出席で交流会を開催しました。

田中コーディネーター（副分区分長）の司会のもとでボランティア活動についての沢山の感想やご意見を伺いました。

感想では「施設で皆さんから心からの有り難うの言葉を頂くたびにボランティアをして良かった

と思う」「施設特有のにおいの中で移動もままならない方達にのびのびとヒールを飲んで頂くお世話ができる自分の幸せを感じている」「認知症の方の接し方の難しさを勉強しました」などの発言がありました。また蘆田氏（元分区分長）はオレシジのプレスレットを示して「認知症サポーター養成講座を受けると認知症



の方に對する心得ができ、サポーターの証しとしてこのオレシジのプレスレットが交付される」と説明され、講座開催の要望が出されました。



「グループでボランティアに行くときに車を出して頂く方に申し訳ないの車で代は出ないのか」という質問に、施設の助成金制度が変わり予算が取れなくなった状況を蘆田氏から教えて頂きました。

カーボランティア

六月十一日（木）午後一時半～三時迄、安心プラザで移送ボランティア（カーボランティア）五名とコーディネーター一

〇名で交流を持ちました。古南コーディネーターの進行で男性が多い緊張の会話が、活動の困り事は？という問いかけから始まりました。「いつも感謝の言葉を頂きやういがある」「依頼を頂くが都合が悪く断ることが多くなると申し訳なく思う」「外に出ていて予定が解らないときの返事に困る」などの声がありました。高齢化に伴うボランティア減少の負担も窺えました。

ボランティアセンターとしてボランティアさんが安心して活動できる環境を整備や増員等の拡充を通して、地域での助け合いの仕組みが定着できるように繋いでいく責任をあらためて感じました。次回は登録ボランティアさん全員での企画にしたいと思います。ご出席頂きました皆様！本当にありがとうございました。コーディネーター一同、日頃の活動へのご協力も含めて心から御礼申し上げます。

交流会で得たもの

今回の交流会を通して、

社協会員会費の報告

ご協力ありがとうございました

個人	432口	216,000円
法人	16口	80,000円
合計		296,000円
		8月10日現在

研修部よりご案内

シリーズ・基礎から学ぶ 認知症講座

第1回 認知症サポーター養成講座 (認知症のイロハとサポーターの実務)

9月20日(日) 13:30～15:30

会場 北六甲台コミセンA室

講師 中島淳美(訪問看護センター看護師)

第2回 パネルディスカッション (地域で考える認知症サポート)

10月4日(日) 13:30～15:30

会場 北六甲台コミセンA室

助言者 丸尾多重子

(NPO法人つどい場さくらちゃん理事長)

パネラー 北六甲台自治会、連合福寿会、社協北六甲台分区、北六甲台ボランティアセンター、民生児童委員の各代表

ご案内

第10回 (平成27年度)

敬老のつどい

開催日：9月26日(土)

時間：午後1時～3時

会場：北六甲台小学校・体育館

